

新しい函館のためのいかロボットの開発と運用（グッズ広報班）

新山健太 本部健太 蛭澤諒太 吉田雄

概要

グッズ班広報班は IKABO に関するグッズ制作・販売と SNS などによるイカボの広報を主な活動としている。

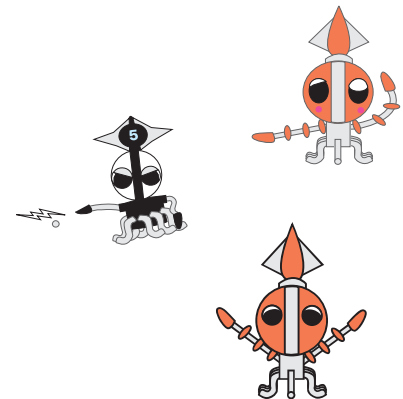
グッズ製作案



イカボの広報活動を担っているグッズ制作では、いくつかの製作案が出ている。「うちわ、ウェットティッシュ、トートバッグ、缶バッジ、クラフトペーパー」である。港祭りに向けてうちわを作り、港祭りで無料配布することを想定しており、うちわに新幹線イベントや11号機のデザインを使うことで宣伝効果を狙う。しかし、11号機制作資金の不足によりグッズ制作に回す資金がままならないことや今年のはこだで港祭りにイカボが出れるかわからない状態なのでこの案件はまだ検討中である。

グッズ制作、販売における今後の展望

グッズ制作、販売に関して、新しいグッズは作りたいと思っているが、まずは現在ある在庫を販売することに目標を置く。イカボプロジェクトとしてイベントに出れることはあまりないので、イカボプロジェクトである私たちが直接出向いて販売するのではなく、主に観光客が集まりやすいお土産屋や売店に置いてもらって販売する。例えば、函館空港、函館駅、赤レンガ倉庫群、五稜郭タワー、函館山の売店などで販売したいと思っている。今のイカボの認知度では、そのような場所などにイカボグッズを置いてもらうのは少し厳しいかもしれない。そこで後を書く SNS による Twitter や Facebook での広報活動でもっとイカボの情報を拡散し、知ってもらってそのような場所などにイカボのグッズを置いてもらえるように重点を置いて活動していく。



SNS による広報活動



現在、私たちのプロジェクトでは11号機制作についての資金が不足しており、クラウドファンディングという方法で資金を集めています。クラウドファンディングでは多くの人に知ってもらう必要があるため Twitter や Facebook での広報活動で私たちの行っているプロジェクトを宣伝しています。是非未来大生の皆様、教授の皆様も情報拡散やクラウドファンディングに資金の提供をよろしくお願いします。

今後の展望

11号機制作にあたっての資金が不足しているため、プロジェクトで行っているクラウドファンディングの広報に力を注いで行こうと考えている。とにかく今は11号機制作の資金集めをすることをプロジェクト全体で重点に置いている。もし11号機を作成する資金が揃い、プロジェクトの資金に余裕ができれば、新たにグッズを制作したいと考えている。新しいグッズによって更にイカボの知名度を高めていく。

